

決算特別委員会記録（第3号）

平成23年9月16日 金曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 委員長 竹 田 博 一 副委員長

出席委員（14名）

1番	赤 間 泰 広	委員	2番	梅 津 善 之	委員
3番	江 口 忠 博	委員	4番	今 泉 春 江	委員
5番	小 関 秀 一	委員	6番	竹 田 博 一	委員
7番	我 妻 昇	委員	8番	大 道 寺 信	委員
9番	町 田 義 昭	委員	10番	佐々木 謙 二	委員
11番	安 部 隆	委員	12番	渋 谷 佐 輔	委員
13番	高 橋 孝 夫	委員	15番	小 関 勝 助	委員

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
	総務課長兼選挙管		
飯 澤 常 雄	理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	松 木 幸 嗣	健 康 課 長
小 泉 良 一	福祉生活あんしん課長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
遠 藤 正 明	会計管理者兼会計課長	梅 津 和 士	市 民 相 談 セ ン タ ー 所 長
堀 越 俊 一 郎	監 査 委 員	大 滝 昌 利	教 育 長
那 須 宗 一	農 林 課 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 振 興 課 長
平 正 行	観 光 振 興 課 長	松 木 茂	建 設 課 長
浅 野 敏 明	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長
鈴 木 一 則	管 理 課 長	中 井 晃	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
高 橋 徹	勤 労 セ ン タ ー 所 長	青 木 邦 彦	監 査 委 員 事 務 局 長
渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長	鈴 木 智	消 防 主 幹

+

事務局職員出席者

松本 弘	議会事務局長	寒河江 新一	補	佐
鈴木 和夫	議事調査係長	高橋 由美	主	任

本日の会議に付した事件

- 認第1号 平成22年度長井市歳入歳出決算認定について
- 認第2号 平成22年度長井市水道事業会計決算認定について

+

+

+

開 議

○町田義昭委員長 おはようございます。

これより決算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

平成22年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○町田義昭委員長 それでは、昨日に引き続き、総括質疑を続行いたします。

大道寺 信委員の総括質疑

○町田義昭委員長 それでは、順位4番、議席番号8番、大道寺 信委員。

○8番 大道寺 信委員 おはようございます。

昨日に引き続き、決算総括ということで、させていただきます。

きょうも大変暑くなるというお話がございませぬけれども、これ以上議論で熱くなると熱中症になるかもしれませんので、冷静に質問させていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ申し上げたいと思います。

決算総括で私が通告してありますのは、市民直売所の1点についてであります。以下、質問させていただきますので、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。

市民直売所につきましては、平成21年12月定

例会におきまして、いわば準備期間ということもあつての補正予算が出されたわけでありませぬけれども、そのときに開設の考え方、あるいは狙い等について示されました。さまざま質疑されましたけれども、可決をされまして、22年4月よりの本格オープンに向けての準備ということがスタートでありましたけれども、今回の決算に伴いまして、この市民直売所の初年度である22年度の収支状況が示されましたけれども、この内容を中心に、以下、質問するものでございます。

まず、1年目の収支状況の当初予定に対する違いについてでありますけれども、当初の経営目標では、売り上げで6,000万円、生産者売り上げ4,800万円、業者売り上げが1,000万円、運営売り上げ200万円と想定をしておりましたけれども、この経営目標については、当時の、当時というのは平成21年12月の議会での予算総括質疑の答弁、高橋孝夫委員が質問した答弁では、この6,000万円の考え方は、想定コストから考えた採算分岐点ということで示したと、こういう答弁がございました。しかし、それから詳細が決定されれば変動するものであると、こういう考えだつたと思ひます。

その後、詳細の内容が詰められまして、平成22年3月の定例会におきまして、緊急雇用対策事業補助金の活用、あるいは直売所振興費などの変更ということをしなごら運営をされてきたわけでありませぬけれども、9月2日に商工振興課から示されました菜なポートの収支状況によりませぬと、収支差額はわずか3万3,000円余りと、3万4,000円程度ということになっておりまして、これを緊急雇用事業の補助金、これは地場産業に対する長井市からの委託料ということになりますけれども、これを加味すると、これを除けば、除けばという言い方はおかしいんではございませぬけれども、これをいわば加味いたしますと、大幅に赤字ということになっております。